

なんかの
お店のこと？
(ショップ)

ワークショップ ってなんだ？

さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場です。

会議のように事務局や役職のある人だけで内容を決めるのではなく、参加者全員が同じ立場で一緒に考え、自由に意見を出し合う、話し合いの手法です。堅苦しくなく、楽しくおしゃべりしながら町内会のことを考えることができます。

見える化することで、みんなで共有しやすくなります。



に



ペン

で書く

ワークショップのルール

人の話を聴く。
人の話を否定しない。
ひとりで話しすぎない。
肩書きから解放されよう。

町内会の困りごとは
どんなことですか？

〇〇が
たいへん

どんな町内会にして
いきたいですか？

△△
していきたい

町内会の自慢
好きなところ
今後に残したいもの

〇〇な
ところ

駅員：狩野勇樹さん
所属：まちづくり課
居住：舟形第3
最近食べたおいしいもの：きゅうりの一本漬け
一言：みなさんの乗車をお待ちしています。

出発進行！

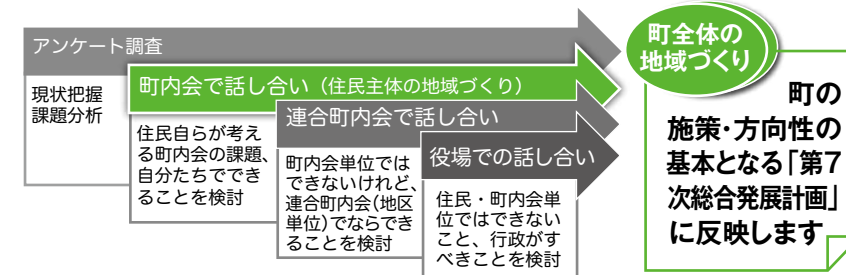
あなたのもとに地域

▼問い合わせ／舟形町役場まちづくり課企画調整係
☎ (32) 2111 (内線356)

住民主体の 地域づくり推進事業 ってなんだ？

なんだか
難しそう
(: _ :)

人口が減り、財政状況が厳しくなる中、住民と行政がそれぞれできることを考え、町全体で地域づくりをしていく必要があります。無理難題を考えるのではなく、私たちの町内会、これからどうなっていくのか、どんな町内会であってほしいか、みんなで考えます。



- ・「町内会の困りごと」、「こういう町内会にしていきたい」などを話し合い、自分たちで取り組めることを考えます。
- 「町内会びじょん」の作成（見える化）
- ・「町内会びじょん」は町内会の総会での承認を経て、公民館など、みんなが見られる場所に飾っておきます。
- ・「町内会びじょん」をもとにした地域づくりを推進
- ・びじょんは5年に1回見直しますが、いつでも、みなさんと話し合って新しいびじょんを作っていくてください。

各町内会で地域づくりワークショップが始まっています。会議のように家から代表1人ではなく、いろいろな意見が出るよう、多くのみなさんの参加をお待ちしています。中高生、若者大歓迎です。役場の職員もおじやまして、話し合いの進行やサポートをします。

「官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくり推進事業」

人口減少だからこそ



駅員：山本知加さん
所属：健康福祉課
居住：野
最近ハマっていること：スイカを食べること
一言：若手職員が参加します。
(でもない人もいますが(笑))
私たちといろんなお話をしましょう。

地域づくりワークショップの 「乗車券」が届きます